

イ、直營が合理的ではあるが必要上中間請負制度を用ふるのである

ロ、失業應急事業は内務省の方針で規定されてゐるので如何ともなし難し最近内務省に行くので最善の努力をする。と答へたが、失業者側代表は更に市長のボーナスを上げて皆さんの賃銀個上要求を何故容れぬかと追ひ、市助役は答辯する必要なしとして席を立たんとしたので、失業者側は助役の態度を不都合なりとして激怒した数名が暴行に出でんとしたので警戒中の警官に制止され僅かに事なきを得たるも失業者側は助役に辭職を要求する等双方感情的になり所轄警察署の鎮撫にて一應物別れとなつたのであるか、一向は更に社會課長に會見し社會課關係事項に於て次の要緊をなした。

4、社會課長との接衝

要 緊 事 項

イ、二日間降雨ある時は三井家寄附の米券を支給するか降雨日に他に就勞の轉施をせよ。

ロ、八幡無料宿泊所で、壹日九拾錢で便利入夫の申込を受くる事は若々失業者の賃銀低下の原因となるので即時撤廢し一日壹圓五拾錢と廣告せよ。

ハ、労働紹介所は一日壹圓參拾錢以上でなければ市内の労働紹介に應ずるな。

ニ、濟生會病院の取扱が不都合であるから注意せよ。

ホ、夜間發病に備ふる為無料診察券を各組長評議員に於て發行せよ。

社會課長回答

イ、米券は調査して必要に依り發給する